

一般財団法人 全国大学実務教育協会

# 会報

## 第Ⅲ期中期計画の策定

### CONTENTS

Page

代表理事・会長ご挨拶	1
中長期経営戦略第Ⅲ期中期計画	2
産学官・会員校代表者等交流会	3
会員校紹介 九州栄養福祉大学／東筑紫短期大学	5
資格認定事業	7
実務教育優秀教員被表彰者寄稿文	8
研修・講座事業	9
大学実務家教員養成コース修了認定者の紹介	10
協会からのお知らせ	11
新任役員・評議員の紹介	12
役員・評議員・顧問名簿	13



January  
2026  
第27号

産学官・会員校代表者等交流会

### テーマ 「大学と企業・地域社会との接続を考える」

「『知の総和』答申と地域大学振興について」  
文部科学省高等教育局大学振興課 地域大学振興室室長補佐 畑 盛斗 氏

「共に育つ経営環境づくりの実践」  
有限会社 テツカ精機 代表取締役社長 手塚 良太 氏

「地元企業との連携教育事例 -鹿児島女子短期大学-」  
鹿児島女子短期大学 准教授 石田 もとな 氏

**JAUCB** 一般財団法人 全国大学実務教育協会  
Japan Association of University and College for Business Education

〒102-0074  
東京都千代田区九段南 4-2-12 第三東郷パークビル 2F  
TEL: 03-5226-7288 FAX:03-3263-8633  
E-mail:jaucb@jaucb.gr.jp URL:https://www.jaucb.gr.jp/



Copyright© JAUCB All rights reserved.

**JAUCB** 一般財団法人 全国大学実務教育協会  
Japan Association of University and College for Business Education

# 第Ⅲ期中期計画の策定

— 今後の大学教育への  
本協会の役割と活動に向けて —



代表理事・会長 清水 一彦

会員の皆様には、平素より本協会の活動に格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、本協会では2025年度が第Ⅱ期中期計画の最終年度となり、理事会では2026年度から6年間の第Ⅲ期中期計画を策定いたしました。「戦略的課題」あるいは「中・長期戦略」を再策定するにあたりましては、文部科学省における高等教育政策や大学改革の動向を的確に分析し、本協会が提供してきた「実務教育」の意義およびその位置づけを改めて考えることが不可欠でありました。

文部科学省が2024年に公表したデータによれば、少子化の進行により、今後10数年後の2040年代には学生定員が約10万人過剰となる見通しであり、これは私立大学・短期大学の約2割にあたる170校程度に相当するとされております。さらに、2025年2月に公表された中央教育審議会による『知の総和』答申では、高等教育全体の規模の適正化が大きな柱として掲げられ、設置認可審査の一層の厳格化、学部を対象とした認証評価制度の改善に加え、大学の再編・統合の推進、規模縮小や撤退への支援などが盛り込まれました。

このように、学生募集の停止や廃校が現実のものとなり、大学淘汰の時代を迎えようとする中、とりわけ私立大学・短期大学においては、これまで以上に厳しい運営環境に直面しております。加えて、2025年4月には文部科学省に地域大学振興室が設置され、今後は地方自治体や企業と大学が一体となってこの難局を乗り越えていくことが求められています。

こうした『知の総和』答申を含む一連の政策動向は、特に学生募集に苦戦している地方の私立大学・短期大学にとって厳しい側面を有しておりますが、わが国全体の高等教育システムを再構築するためには、従来の発想にとらわれることなく、大きな転換を図ることが必要であります。すなわち、他学校種との対立や競合から、協力・連携へとベクトルを転換し、長年続いてきた偏差値主義から脱却するとともに、他の大学・短期大学との差別化を図る無二の個性と付加価値を重視した教育へと舵を切ることが求められています。

本協会の目的は、「大学・短期大学で学ぶ学生および社会人に対する実務教育を行うとともに、実務教育に関わる研究の充実と向上を図り、もってわが国の教育文化の発展に寄与すること」にあります。これまで本協会では、「実践力」「実務力」を中核とした資格教育課程の開発・実践および質保証に継続して取り組んでまいりました。第Ⅲ期中期計画においては、高等教育における実務教育および資格教育課程の質保証を中核とした新たな価値創造、すなわちイノベーションを推進し、会員校のさらなる発展につなげていく必要があります。

なお、中期計画の策定にあたりましては、協会の事業活動および体制基盤の強化を目的として、事業開発運営積立金から計画期間6年間に総額6,000万円を上限とし、年額1,000万円を目途に取り崩すことといたしました。第Ⅱ期中期計画と同様、年度初めに前年度の事業実施状況および成果の検証を行い、第Ⅲ期終了時には収支バランスの見通しを確定させ、第Ⅳ期以降においては積立金の取り崩しを行わない、安定した財務体制の実現を目指してまいります。

今後とも、会員の皆様とともに本協会の使命を果たしていけるよう、一層の努力を重ねてまいります。引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## JAUCBの中長期経営戦略 第Ⅲ期中期計画(2026-2031年度)

一般財団法人全国大学実務教育協会 中長期経営戦略会議では、第Ⅲ期中期計画を策定しました。

### < 第Ⅲ期中期計画の方針と活動方策 >

- 方針A.** 「大学と実社会をつなぐ実務資格取得課程」を導入する会員校の増加をはかる。
- 方策A-1** 大学生を対象とする「大学と実社会をつなぐ実務資格取得課程」を導入する意義をアピールし、時代が求める資格教育課程の提案を継続する。
- 方策A-2** 社会人等を対象とした新たな資格事業を開発し、「大学と実社会をつなぐ」本協会の事業拡大をはかる。

- 方針B.** 「大学と実社会をつなぐ教職員養成事業」を持続的に実施するとともに、協賛組織・協賛者の拡充を進める。
- 方策B-1** 広く大学教育に関わる教職員研修講座を継続的に実施し、本協会の知名度を高める。
- 方策B-2** 本協会の特色ある研修を実務家教員養成に活かし、広く大学や企業等から信頼される機関となる。

- 方針C.** 協会事業につながる産学官の対話を継続し、関係性の強化をはかる。
- 方策C-1** 本協会の事業推進の基盤となる産学官の関係性構築に継続して取り組む。
- 方策C-2** 実務実践研究ネットワーク支援事業に継続して取り組む。広義の実務教育に関する「教育サービス」を将来的に本協会の社会貢献活動として位置づけることを念頭に置いて取り組む。

- 方針D.** 中長期経営戦略に含まれる事業の実現には、長期間(15年以上)を要することを想定し、それに合わせた資金整備をする。
- 方策D-1** 委員会や諸事業活動を常に見直し、運営の効率化に努め、運営コストの削減をはかるとともに、公共性・公平性を持続できる組織体制を確立する。
- 方策D-2** 先が読めない変化に対応する協会独自(ニッチ)の事業開発運営を可能にするために、2025年度末の事業開発運営積立金1億7,500万円を計画的に運用する。

## 協会の発足と使命

### 協会の発足と使命

協会の発足した1973年のころ、まだ実務教育のことが話題にもならなかった当時、社会で活躍できる実務の素養と人間力を備えた女性の能力開発に着目し、大学・短期大学における秘書教育課程を開発して、資格を授与することになりました。こうして本協会前身の全国短期大学秘書教育協会が始まりました。続いて、情報処理教育課程、ビジネス実務教育課程などを開発し、資格を授与してきました。

その後、協会の名称を全国大学実務教育協会に変更し、時代の要請や社会のニーズを捉えて、実務教育に関わる数多くの教育課程を開発し、資格を授与することになりました。

以来、初期からめざしてきた方向、つまり社会的に役立つ人間力を備えた実務教育の資格授与、実務教育研究の推進、大学・短期大学における実務教育の在り方を追求することを本協会の使命として堅持しています。

### 協会の事業方針

- 本協会は、実務教育・キャリア教育はどうあるべきかを問い続けその実践をリードし、もって大学・短期大学教育の質的転換に貢献します。
- 本協会は、対話を通して産学官民との連携を密にし、社会の変化に対応し、社会を創る人材育成に取り組めます。
- 本協会は、実務教育・キャリア教育に関わる認定事業の質保証を図るために導入した評価制度を推進します。
- 本協会は、大学・短期大学における能動的学修をリードする教員及び実務家教員の教育力並びに教学マネジメントの養成を推進します。

### 本協会が捉える「実務力」とは

どのような職業に就いて働く場合でも、様々な実務を担って責任を果たすことが求められます。実務力とは特定の知識・技能だけを意味するのではなく、自分の持てる力を活かして結果を出す人間力を含む総合的実践力であると捉えています。

### 本協会のめざす実務教育とは

本協会の実務教育は、「実社会を知り、自分を知る」を基軸におく人間力をベースに、実務を推進する総合的実践力を基本において育成をはかるものです。この幅広い実務実践力は失敗や成功を伴う体験学修を重ね、自ら獲得していくものであると捉え、本協会では種々の資格教育課程を提案しています。

### 資格教育課程の質保証方法とは

一人ひとりの教育課程修了者の学修成果の質保証をはかるには、大学における単位認定結果(GPA等)に加えて、学修者自身による資格到達目標達成度評価結果(学びの自己評価と継続課題等)の明確化が求められます。この質保証の考え方のもと、2023年度より本協会は、ルーブリックに基づく資格到達目標達成度評価制度を導入し、新たな評価方法(協会独自のもの又は大学オリジナルなもの)を導入しています。

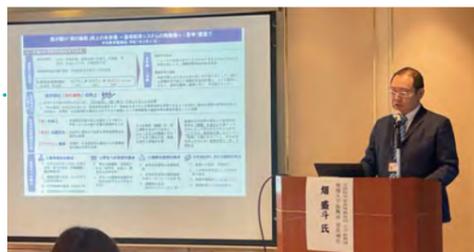
# 2025年度 産学官・会員校代表者等交流会 「大学と企業・地域社会との接続を考える」

2025年12月12日(金)アルカディア市ヶ谷にて、会場31名、リモート14名、合計45名の大学・短期大学の皆さまが参集し、2025年度産学官・会員校代表者等交流会を開催いたしました。今年度のテーマ「大学と企業・地域社会との接続を考える」について、産学官各界からご講演をいただきました。

## I. 基調講演

### 『「知の総和」答申と地域大学振興について』

文部科学省 高等教育局大学振興課地域大学振興室  
室長補佐  
**畑 盛斗氏**



畑氏は『「知の総和」答申と地域大学振興について』と題して、「知の総和」答申の要旨および地域大学振興推進の具体的な構想と取り組みについて述べられました。

#### 1. 「知の総和」答申の要旨

「知の総和」答申は、18歳人口の急減という課題に対応するために2025年2月に文部科学省の中央教育審議会によって発表された。2021年に62万人だった大学進学人数が2040年には40万人台半ばまで減少する見込みであり、この状況下で「知の総和」（人の数と人の能力を掛け合わせたもの）を向上させることを目標とし、この実現のために「質の向上」「規模の適正化」「アクセス確保」の3本柱が示されている。

#### 2. 地域大学振興の推進施策

文部科学省は2025年度の概算要求として「知の総和答申を踏まえた地域大学振興推進事業」に25億円を要求しており、地域構想推進プラットフォーム構築支援(15億円)と都市と地方の国内留学促進(10億円)に充てる計画。

#### 地域構想推進プラットフォーム

地域の高等教育機関、地方公共団体、産業界、金融機関などが一体となり、地域の人材育成や高等教育へのアクセス確保について議論・連携する協議体(プラットフォーム)を設置する。このプラットフォームでは、地域の人口予測や産業・雇用環境の変化などの情報を国が提供し、コーディネーターを育成・配置し、地域のニーズに応じて、大学間連携や産学官金等の連携を強化し、地域に必要な高等教育機関への支援を実施する。

#### 地域アクセス確保特例制度の導入

地域の高等教育へのアクセス確保に資する取り組みを行う大学に対し、大学設置基準等の一部を特例的に緩和する制度の導入。他大学との連携や、地域のニーズに応じた教育の実施内容、学生への配慮などが認定基準となる。

### 「共に育つ経営環境づくりの実践」

有限会社 テヅカ精機  
代表取締役社長  
**手塚 良太氏**



手塚氏は長野県木曾町の企業経営者として、自身の経験を共有しながら地域社会に根ざした自社の取り組みを紹介しました。

#### 1. テヅカ精機の継承

現在、テヅカ精機はグループ全体で160名の社員を抱え、製造業だけでなくクリーニングや飲食、木工製品、建設など多様な事業を展開しているが、これまでの道のりは平坦なものではなかった。1976年に父親が創業した会社を2013年に手塚氏が継承した際、全員女性のパート従業員14名、売上7700万円であった。

#### 2. 社員と共につくり上げた企業理念

会社継承時には多くの不安や課題に直面してきたが、中小企業家同友会との出会いを通じて経営理念の重要性を学び、「ものづくりから街づくりへ」という企業理念を社員と共に作り上げた。理念を基盤に据えたことで、新規事業の展開や人材育成、地域との連携が進み、会社は大きく成長。

現在は、「月曜日がワクワクする人が集まる大企業」というビジョンを掲げ、「10社10人の社長を作ろうプロジェクト」を進めている。経営者がひとりではできないのではなく、社員たちが「自分事」として会社経営を考えるのが大切だと考える。

## 3. 地域社会との連携

長野県木曾町で事業活動を行う企業として、地域づくりにも積極的に乗り出している。行政・金融機関・学校・企業が定期的に集まって地域課題を議論する場を設けたり、若手経営者向けの経営計画作成支援、大学生向けのインターンシップを実施したりと、活動の幅は広い。行政などと連携しながら雇用の創出につながる活動を続ける中で、地方に住み続ける人を増やすことが日本の未来にとって重要だと考える。実際に木曾町では数年前まで移住者がゼロだったが、昨年は77組が移住した。地方の中小企業が学び合う場として中小企業家同友会は大きな役割を果たしている。今後も多方面との連携を活用しながら地域づくりに取り組んでいく。

### 「地元企業との連携教育事例 — 鹿児島女子短期大学 —」

鹿児島女子短期大学  
准教授  
**石田 もとな氏**



石田氏は鹿児島女子短期大学における実践的授業を例として、地域社会や企業と連携し、時代に即応した有為な人材育成を目指す取り組みを紹介しました。

#### 1. 地域社会の基盤となる人材育成への具体的な取り組み

創立60周年を迎える鹿児島女子短期大学では「時代に即応した堅実にして有為な人材の育成」という建学の精神に基づき、即戦力となる資格が必要な専門職人材を育成している。児童教育学科では「保育士」「幼稚園教諭」「小学校教諭」を、生活科学科では「栄養士」「栄養教諭」「介護福祉士」を養成。教養学科では、リベラルアーツやICT教育、AI・データサイエンスなど現代社会に必要な知識・スキルの習得を重視し、地域DX推進人材の育成に力を入れており、特に上級ビジネス実務士や情報処理士、メディカル秘書、司書資格など、職場で即戦力となる資格取得を支援している。一般企業や公務員、医療事務、ブランドスタッフ、鉄道・船舶乗務員、企業の事務職、販売・サービススタッフなど多様な進路を支援し、地域社会を支える人材を輩出している。

#### 2. 地域社会との連携の具体的な内容

地域企業のニーズ調査から求められる社会人基礎力(傾聴力、創造力、規律性など)を明らかにし、PBL形式(課題解決型学習)の授業を展開。店舗運営を通して学生は自分の伸ばしたい能力を選び、主体的な学びを通じて自己肯定感を高められた。活動で得た利益は「箱の中の学校」というユニセフのギフトを通じて紛争地域の子どものための教育支援に活用し、社会貢献にも繋がった。

また、SDGs論では地元テレビ局KKBとのコラボ授業を実施し、企業のSDGsへの取り組みを学び、学生と企業が共に活動できる内容についてディスカッション。さらに、JR九州とのコラボゼミでは、女子短大生目線で列車の旅プランを企画し、社員の前でプレゼンテーションを行うなど、地域企業との実践的な連携を進めている。

## II. 全体協議

### 地域社会における産・官・学の連携について

全体協議では基調講演の感想や質問、提案などが交わされました。

「大学と企業、地域社会との接続を持続的なものにするための方策」についての質問には、「関係各所の熟慮」、「中小企業家同友会と大学との連携協定締結」、「学校と企業の組織的な信頼関係構築」といった回答があった。また、「小さな取組みを大きな流れにするための方法」については、「大学が活動内容を社会へ積極的に発信し、理解者を増やす」、「目的を明確にして継続する」、「企業に対して積極的に提案する大学側の姿勢」、「企業と学生の双方にメリットがある取り組みを提案できる人材の育成」などの提案があった。その他、「資格制度についての経営者の考え」については、「資格は面接時の会話のきっかけにはなる。資格の内容やアルバイトなどの実務経験が重要視される傾向」という指摘があり、「マイクロクレデンシャルやデジタルバッジなどを活用し、資格が示す能力を企業側に明確に伝えることが重要」との提案が挙がった。

参加者からは「我が国の「知の総和」を高めるために、大学や短期大学における教育研究や多様な学生や社会人の受け入れ、地域連携など多くの役割が期待されていることを実感した。地方の大学や短大の多くは規模が小さく、予算や人員が限られる中で、誰が、どのような方法で、社会との接続や連携を実現していくのが非常に重要な問題。基調講演で紹介された実践的な教育事例や、地方の中小企業における人材教育の考え方、理念の大切さなどは大変参考になった」と感想が述べられた。

「大学と企業、地域社会との接続」について様々な角度から議論が交わされた本協議。「点」的な取り組みが「線」となり、「面」となって地域と学生の双方が元気になる「接続」が重要であり、地域構想推進プラットフォームの促進が期待されるとして、締めくくられた。



会員校紹介  
九州栄養福祉大学  
東筑紫短期大学



—2025年度 食物栄養学部 食環境データサイエンス学科開設に併せて「データサイエンス・AI実務パスポート」資格を導入!—

2025年4月に食物栄養学部内に「食環境データサイエンス学科」を新設。食・農・健康など多領域にわたるデータを収集・解析し、国内外で求められる課題に対応できる人材を、合理的かつ体系的に育成することを目指しています。教育にはデータ活用スキルを客観的に示す「上級データサイエンス・AI実務パスポート」の取得支援を組み込み、AIや統計の基礎から応用まで段階的に学べるよう設計しています。データ活用が企業活動の要となるこれからのビジネスシーンで、幅広い進路に対応できる力を養う学びを提供します。



学長との懇談

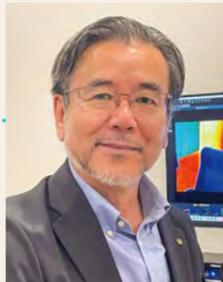
九州栄養福祉大学は、管理栄養士・理学療法士・作業療法士の育成に特化した私立大学です。平成13年の開学以来、福岡県内で高い国家試験合格率を維持しています。北九州市の小倉北区・小倉南区に二つのキャンパスを設置しており、都市型の利便性と学修環境を両立しています。「予防医学」や「社会福祉」を教育の柱とし、基礎から応用まで体系的に学べるカリキュラムを通じて実践力を備えたプロフェッショナルを多数育成してきました。

理事長・学長  
室井 廣一 先生



本学では、教養教育や専門教育を学ぶだけでなく、行事教育を通して建学の精神にもとづく「勇気・親和・愛・知性」の四つの心を育てることを大切にしています。日々の授業で知識や技術を磨きながら、レクリエーションや農園実習、お掃除活動といった多様な行事に取り組むことで、主体的に行動する力や、他者への思いやり、協働する姿勢が自然と身に付いていきます。こうした体験は、単なる学力の向上にとどまらず、人としての成長をしっかりと支える基盤となります。知識と経験を結び付け、人格の形成まで視野に入れた教育は、本学が長く大切にしてきた特色です。令和7年度には新学科「こども教育学部こども教育学科」、「食物栄養学部 食環境データサイエンス学科」がスタートし、この理念を中心に据えた学びの場が、さらなる広がりや深まりを見せていきます。

食物栄養学部学部長・  
食環境データサイエンス学科長・教授  
渡邊 啓一 先生



私は、食と健康の未来をデータで切り開くデータサイエンティストを育てたいと考え、食環境データサイエンス学科を立ち上げました。気象や農作物の生育状況、市場の動きなど膨大なデータを集めて解析し、価値ある知見として社会課題の解決につなげていける人材は、まだまだ不足しています。本学科では、食・データサイエンス・マネジメントという3本柱に、オプティム社をはじめとする37の企業・団体との連携教育を重ね、インターンシップや学内サテライトオフィスでのアルバイトを通じて、学びを実際の企業課題に試す実践的なカリキュラムを用意しています。

食環境データサイエンス学科 教授  
図書館長・情報管理センター長  
赤松 貴文 先生



食環境データサイエンス学科には現場に近い人材を求めている企業から大きな期待が寄せられていると日々感じています。その期待に応えるため、「食環境マネジメント科目」にアントレプレナーシップ演習を設け、学生主体の起業家同好会の活動を後押ししています。食品ロス削減アプリなど、地域の人材育成プログラムで採択されたプロジェクトも生まれました。オープンキャンパスだけでなく、高校での課題追求型授業や見学ツアー、学生自身によるSNS発信を通じて、この学科で学ぶ楽しさと可能性を高校生や保護者の皆さまへ丁寧に届けたいと考えております。

食環境データサイエンス学科 教授  
学生部長  
萩原 勇人 先生



食環境の学びとデータサイエンスを組み合わせた独自の教育を展開する食環境データサイエンス学科は、企業から高い評価を得ています。3年次からは企業との共同研究に参加でき、実社会の課題を扱いながら実践力を磨ける点が大きな特色です。地元出身の学生が多く、同地域での就職を希望する傾向があるため、北九州近郊の包括連携企業とのつながりが学生のキャリア形成を強く支えています。データサイエンス分野で地域と連携したい企業も増えており、就職先の見通しも明るい学科です。地域振興に貢献したい学生にとって、大きな成長の場となるでしょう。

学長補佐・教授  
中岡 寛 先生



新しい分野に挑戦したい高校生の皆さんを歓迎しています。初年度は6名でのスタートでしたが、施設やカリキュラムの拡充・強化が進んだ現在はオープンキャンパスの参加者も増加傾向にあり、学科そのものへの理解が着実に広がっていると感じます。本学園の東筑紫短期大学は、地域に根差した人材を育成し、地元企業への就職を支えることで地方創生に直接寄与する重要な教育機関です。また、多彩な資格取得をめざせる学びのため、地域社会への貢献と学生の将来的な就職機会の拡大を両立しています。

教務部長  
木村 幸代 さん



食環境データサイエンス学科では、資格取得に必要な授業を確実に履修できるよう、時間割編成から成績管理まで丁寧に支える体制を整えています。資格取得にまつわる申請業務も二重三重のチェックで進め、学生が安心して学べる環境づくりを大切にしています。私自身が本学の短大卒業生として資格の力を実感してきた経験から、実践的な学びを重視している点も本学ならではの特色です。「食・住・子育て」を基盤としてきた学びに加え、データサイエンス分野が新たな可能性を広げています。将来、本学科で学んだ学生がさまざまなフィールドで活躍してくれることに期待しています。

食環境データサイエンス学科 1年生  
末岡 加菜 さん



ITの面白さに触れたのは、高校で受けた情報関連の授業でした。進路を考える際、生物の先生から「学んできた生物も生かせる道を選んでほしい」と勧められたこともあり、この学科を志望しました。大学の授業は難しそうだという不安もありましたが、基礎から丁寧に学べる環境のおかげで前向きに挑戦できています。Pythonなどのプログラミング基礎も少人数制で質問しやすく、理解を深めながら進められています。現在は資格取得を目標に学習を進めており、将来は連携企業で情報分野の仕事に携わりたいと考えています。

食環境データサイエンス学科 1年生  
中川原 冴 さん



高校時代から社会のデジタル化を強く感じ、あらゆる分野でITが必要になると考えていました。さらに、長く続けてきたスポーツで食事管理の重要性を実感していたため、ITと食という2つの分野を融合的に学べる学科に強い関心を持ちました。文系出身の私にとっては難しく感じる内容もありますが、少人数制で一人ひとりに丁寧に向き合ってもらえるため、着実に理解を深められています。将来的にはIT系の仕事に就いてデータ分析で社会課題の解決に貢献したいと考えており、いずれは食品開発などの世界にも活躍の場を広げたいです。

# 資格認定事業

## 全国大学実務教育協会の25資格

### 資格の分類

幅広い専門分野の実務力

- ▶ **大学と働く現場をつなぐ就業力を養う**
  - ・実践キャリア実務士
- ▶ **職業人に求められる基礎的・汎用的能力を身につける**
  - ・情報処理士 ・ビジネス実務士 ・秘書士 ・プレゼンテーション実務士
- ▶ **進化する産業分野に対応した実務力を身につける**
  - ・上級情報処理士 ・上級ビジネス実務士 ・上級ビジネス実務士(サービス実務)
  - ・上級秘書士 ・上級秘書士(メディカル秘書)
  - ・データサイエンス AI実務パスポート ・上級データサイエンス AI実務パスポート
- ▶ **国際社会に対応した実務力を身につける**
  - ・上級ビジネス実務士(国際ビジネス) ・上級秘書士(国際秘書) ・国際ボランティア実務士

専門分野のスペシャリスト志向の実務力

- ▶ **教育・福祉の専門分野に特化した実務力を身につける**
  - ・こども音楽療育士 ・園芸療法士 ・カウンセリング実務士
- ▶ **ビジネスの専門分野に特化した実務力を身につける**
  - ・ウェブデザイン実務士 ・観光実務士 ・環境マネジメント実務士 ・上級環境マネジメント実務士
- ▶ **地域社会の専門テーマに特化した実務力を身につける**
  - ・社会調査アシスタント ・社会調査実務士 ・生活園芸士

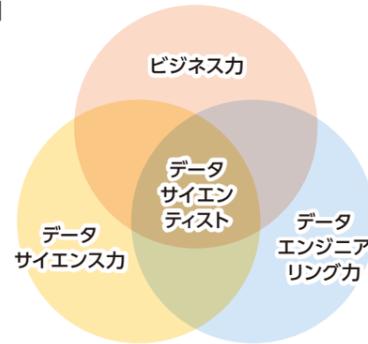
## 2024年度に開設した新資格

### 「データサイエンス・AI(DSAI)実務パスポート」 「上級データサイエンス・AI(DSAI)実務パスポート」

◆この資格は、文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」の学修目標に沿って当協会が設定した能力基準にカリキュラムを編成しています。

#### ◆「DSAI実務パスポート」資格を導入する手順について

- 大学・短大が「DSAI実務パスポート」資格を導入する手順は次のとおりです。
- ①「DSAI実務パスポート」資格ガイドラインの教育課程編成方針に沿って到達目標・学修目標を策定する。
  - ②上記目標を達成する教育課程を編成する。
  - ③編成した教育課程編成表に授業科目を設定する。
  - ④作成した教育課程編成表を当協会の資格教育課程審査常任委員会で審査をし、編成表を認定する。



#### ◆「DSAI実務パスポート」資格の授業科目の一例 ●必修科目、○選択科目

	領域 1	領域 2	領域 3
<b>到達目標</b>	情報社会において情報を適切に収集・分析する知識と技能を持ち他者への思いやりを持って、論理的・倫理的に実践する重要性を理解している。	データサイエンス・データエンジニアリング・AI技術の知識と技術を理解・修得した上で、それらを実務に適切に活用する実践力を有し、成果を出すことができる。	情報社会において、対象となる課題を科学的・論理的に発見・分析し、適切に表現することで、主導的に業務を変革し、課題を解決する能力を身に付けており、学びの継続力の重要性を理解している。
<b>授業科目(例)</b>	・データサイエンス又はICTリテラシーなど●	・経済統計又はマネジメントの数学など● ・プレゼンテーション演習○ ・データ解析とAI○ ・プログラミング基礎○ ・数学基礎○ など	・総合実践演習● ・実践事例研究○ ・キャリア形成ゼミ○ など

# 2024年度 実務教育優秀教員被表彰者寄稿文

- 本協会は次の要件を満たす教員を「実務教育優秀教員」として表彰し、表彰状と副賞の記念楯を授与しています。
1. 学生による授業評価が当該年度全学期にわたり自校の最高水準であること
  2. 研究や社会的活動において実務教育の充実向上に貢献する業績を挙げていること

## 変化の時代に対応する「実践知」の育成



四国大学 経営情報学部  
メディア情報学科  
准教授

近藤 明子

このたび、全国大学実務教育協会より「実務教育優秀教員」として表彰を賜り、身に余る光栄に存じます。日々、熱心に学び続ける学生の皆さん、そして教育・研究活動を支援して下さる関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

私の授業では、デジタル技術やデータ分析、まちづくりなどの実社会の課題を題材に、学生が「自分ごと」として地域や社会の未来を考える力を育むことを目指しています。特に、単に知識を伝えるだけでなく、データやデジタルツールを活用して身近な地域の課題を可視化し、解決策を構想するプロジェクト型の学びを重視しています。学生が現実の社会とつながりながら学ぶ過程で、「自ら考え、仲間と協働し、社会に働きかける力」が育つことを何より大切にしています。

授業改善のうえで心がけているのは、学生が安心して挑戦できる環境づくりです。実務教育の現場では、答えのない課題に取り組むことが多く、最初からうまくいくことは稀です。そのため、失敗を恐れず試行錯誤できる環境づくりを意識し、成果に至るプロセスを重視して学生一人ひとりの学びに向き合い共に考えています。また、生成AIなど新しいデジタル技術の活用も積極的に取り入れ、学生が「技術を使いこなすだけでなく、社会のためにどう活かすか」を考える機会を設けています。

大学における実務教育の充実に向けては、「地域と大学、そして学生をつなぐ実践の場」を広げることが重要だと感じています。オンラインやデータの活用によって、遠隔地にいながら地域の現状を理解し、関係者と意見を交わす新しい学びの形が可能になりました。一方で、現地に足を運び、人々と直接対話しながら課題や魅力を肌で感じる体験も、学生にとって大変貴重です。画面越しの情報だけでは得られない現場の温度感や思いに触れることで、地域の課題をより自分ごととして捉え、主体的に考える姿勢が生まれます。こうしたオンラインと対面の学びを組み合わせることで、学生が自らの専門性を社会にどう生かすかを具体的に描けるよう支援していきたいと考えています。

このたびの受賞を励みに、これからも教育と研究の両面から実務教育の質を高め、学生が社会の変化を前向きに受け止め、次の時代を切り拓く力を育む教育を追求してまいります。改めて、本表彰に関わってくださった皆さまに心より御礼申し上げます。

## 生成AIが変える情報教育と教員像



大妻女子大学短期大学部  
家政科 生活総合ビジネス専攻  
教授

豊田 雄彦

この度は、実務教育優秀教員として表彰していただき、誠にありがとうございます。本受賞は、私に教職への道を開いてくださった方々、粘り強く授業に向き合ってくれた学生、そして日々支えてくださったすべての方々のおかげであると深く感謝しております。

私の教育の軸は情報教育ですが、近年の生成AIの一般化によって、その在り方は大きく変わろうとしています。これまでであれば、表計算ソフトウェアの操作法を習得させることが中心でした。たとえば、別の表にある項目を参照するにはVLOOKUP関数などの使い方を教える、というような授業です。しかし、近年では表計算ソフトウェア自体にAI機能が実装され、利用者が「やりたいこと」を自然言語で指示するだけで、自動的に処理が実現できる時代になりました。

そのため、「教えることがなくなってしまったのでは」と思われるかもしれませんが、むしろ今こそ、より本質的な教育が求められていると感じています。従来は「方法」に焦点を当てて教えてきましたが、これからは「目的」を意識して教える必要があります。たとえば、「この表は何のために作るのか」「目的を達成するために適切な手法は何か」といった問いを共有し、考える教育です。

生成AIの影響は情報教育にとどまらず、教育全般に広がっています。知識伝達においても、AIが学習者の前提知識や特性を踏まえた個別最適な指導を行う時代が近づいています。そうすると、「教員はいらない」と言われるようになるかもしれません。しかし私は、たとえそうした時代が来ても、人間の役割は失われたいと考えています。なぜなら、「学びを意識づけ、他者の成長を支援するファシリテーション」という営みは、人間にしかできないと感じるからです。

これからの教員に求められるのは、学生の知的好奇心を引き出し、学びを促進するファシリテーション能力だと思います。そのためには、教員自身が新しいことに挑戦し、変化し続ける姿勢を示すことが何より重要です。私自身も、常にそのような姿勢を忘れず、学び続ける教員でありたいと強く意識しています。

# 研修・講座事業

## 高等教育の質保証と人材育成を支える 実践的研修・講座を展開

当協会では、大学・短期大学を取り巻く環境変化や社会的要請に応えるため、教職員および実務家を対象とした研修・講座事業を継続的に実施しています。教育の質向上と教学マネジメントの高度化を柱に、対面・オンラインを組み合わせた多様な学修機会を提供しています。

2013年に閣議決定された「第二期教育振興基本計画」に基づく大学教育の質的転換の推進を背景に、当協会は2014年度より研修・講座事業を展開してきました。これまでに約220名の学修者が本事業を修了し、修了認定証を取得しています。

大学教育・運営教職員研修特別委員会では、アフターコロナ時代の高等教育を取り巻く環境変化を踏まえ、教職員養成講座の在り方を抜本的に見直しました。その結果、2024年度からは従来の4つの研修・講座を2つに再編成し、大学・短期大学が求める教育の質保証・向上に、より実践的に貢献する研修体系へと刷新しています。また、ルーブリックによる学修の自己評価を導入しています。

さらに、2025年度からは紙ベースの修了認定証に加え、学修成果を可視化・証明できるオープンバッジによる修了認定証の授与を開始しました。

### 教学マネジメント教職員研修講座



本講座は、2018年の中央教育審議会答申を受けて策定された「教学マネジメント指針」に基づき、大学教育の質向上を目的として実施しています。2025年度は、8月から9月にかけて4日間、アルカディア市ヶ谷において対面形式で開催し、全国各地から15名の教職員が参加しました。講師には、当協会代表理事・会長であり、松本大学・松商短期大学部学長の清水一彦教授をはじめ、教学・教育改革の第一線で活躍する6名が担当しました。

講座では、「教学改革と大学のブランド化」をテーマに、教学IRや教学マネジメント改革について体系的に学修しました。大学のブランド化に関する改革事例の発表をもとにしたワークショップでは、参加者同士による活発な討議と意見交換が行われました。加えて、FDを効果的に推進している大学の実践事例紹介後にはグループ研究を実施し、具体的な取り組みへの理解を深めました。



### 大学実務家教員養成コース



近年、産業界等で豊富な実績を有する専門家を実務家教員として迎える大学が増えています。本コースは、実務家教員としてすでに活躍している方、あるいは大学教員を志す実務家を対象に、大学教員に求められる役割や研究活動、教育力、授業設計、シラバス作成など、教育現場で即戦力となる実践力の修得を目的としています。修了者には修了認定証を授与しており、多方面から高い評価を得ています。

今年度は、大学で活躍中の実務家教員や、大学教員を目指すビジネスパーソンなど13名が参加しました。講座は、Zoomによるリモート講座1講座、オンデマンド講座5講座、対面演習1講座を組み合わせたハイブリッド形式で実施しました。

オンデマンド講座では、「大学とは何か」「大学教員の役割と機能」をテーマに、高等教育政策や大学が直面する課題、組織力強化、研究活動の進め方と成果のまとめ方を学修しました。また、「大学の授業とは」「大学における人材育成と多様化する学生」をテーマに、授業デザインやシラバス作成について理解を深めました。

対面演習では、受講者が作成したシラバスを基に模擬授業を行い、実践的な指導力を磨くとともに、アクティブラーニングの技法を体得しました。

本コースでは、一昨年度より大学教員志望者を当協会会員校へつなぐ仕組みを構築しており、実際に大学教員として活躍している修了者も生まれています。なお、2026年度からは「大学実務家教員認定コース」へ名称を変更します。



## 指導補助者教育研修プログラム(2026年度開設)

2026年度からは、新たに指導補助者を対象とした教育研修プログラムを開設します。本プログラムは、全8回のオンデマンド講座で構成され、高等教育の現場を支える人材の育成を目的としています。

**対象者** ・大学・短期大学に勤務する助手、研究員、職員等  
・大学・短期大学に在籍する大学院生または学部学生(TA・SA経験者を含む)

**プログラムの目的** ・高等教育に携わる者としての「教育者としての自覚と準備」を促します。  
・教育や授業改善につながる「教育力」を身につけ、「研究力」や「マネジメント力」を兼ね備えた未来志向の大学人の育成を目指します。

講師には、学長経験者や高等教育分野の要職経験者など、豊富な知見と実績を有する専門家が登壇します。本プログラムで育成する能力は、授業目標を設定する力、目標達成に向けて行動する力、評価指標および評価基準を設計する力など、教育現場で求められる実践的能力です。

## 大学実務家教員養成コース修了認定者の紹介

### 人生100年時代へ、リスタート。テレビマンから大学教員へ!

—社会人のキャリアは伊達ではない。キャリアの積み重ねを次世代へ—

#### 加速する大学実務家教員の増加

近年、産業界や官界その他の団体などの特定分野で高い実績を残してきた専門家を実務家教員として迎え入れる大学が増えています。もともと大学教員には教員免許などはなく、誰でも一定の知識や技能があれば大学教員として活躍することができます。

文部科学省の中央教育審議会大学分科会では、教育の質保証システムの改善・充実の中で、クロスアポイントメント等教員の多様な働き方が広がっていることを踏まえて「一大学一専任教員」の見直しを行い、「基幹教員」として複数の大学等で勤務することも可能になりました。このような動きの中で、大学実務家教員の必要性は確実にかつ加速度的に増加していると言えます。



山形 真一郎氏

テレビ大阪にて報道スポーツ局長、解説委員長等を歴任。テレビ局ではキャリアの大部分をスポーツ、報道系で過ごしプロ野球、Jリーグ、ゴルフ、ボクシング、モータースポーツなどスポーツと報道分野をメインに担当。2021年12月一般財団法人全国大学実務教育協会「大学実務家教員養成コース」を修了。2025年3月大阪公立大学大学院都市経営学修士課程修了。現在、大阪経済大学人間科学部及び芦屋大学臨床教育学部で非常勤講師として「スポーツ」「まちおこし」「メディア」をテーマに研究活動、教育を行っている。

#### 本協会の大学実務家教員養成コースを修了した後、 実務家教員として大学で活躍している山形真一郎氏にインタビューしました。

##### —実務家教員を目指したきっかけについて—

人生100年時代、定年後の人生をリセットではなくリスタートしたいと思ったからです。実社会での長年の経験から得た知識やスキル、実践的な学びを、次世代を担う学生に伝えたい、学生の成長を間近で見守りたい、サポートしたい、自分のキャリアで社会に貢献したいという思いが原動力になっています。

##### —実務家教員としての学生指導と大学からの期待について—

学生がアカデミックな環境と実務の世界とのギャップが理解できるように理論と実践のbridgingをし、社会に出ていく上で現実の社会の動向を伝えることが実務家教員の学生への役割だと思っています。

また、大学からは、実社会との連携を強化し、共同研究やワークショップなどを通じて学びを実践的なものにする役割が期待されていると思います。

##### —実務家のキャリアを大学教員として活かしていること—

学生や職員との円滑なコミュニケーションはもちろん、教職員や企業関係者と連携をとること、また学生の疑問や不安に寄り添い、彼らの意見や質問を丁寧に聴きだす傾聴力などが教員として重要なことであり、私のキャリアが活かしていると思っています。

##### —実務家教員として目指すこと—

経験や体験の教育への落とし込み方や、効果的な授業を組み立てるカリキュラム開発に意欲を持ち続けたいと思っています。また、既存の枠にとらわれず新しい学びの形を追求していきたいと思っています。

##### —「大学実務家教員養成コース」の感想および良かった点について—

学生の学びを引き出すための授業デザイン、シラバス作成、授業運営の仕方、ポートフォリオ、研究活動、大学教員の役割、授業評価など教員の基本的な学びが網羅されていることに驚きました。また、この講座の講師から「実務経験だけでは大学の教員としては半年もたない」とハッキリ言われたことが良い教訓になっています。

##### —これから実務家教員を目指す方々へのメッセージ—

これから実務家教員を目指す方へ申し上げたいことの一つは、「謙虚な姿勢を忘れないこと」です。いくらビジネスの世界にいたと言っても、あくまで一企業における限られた経験でしかありません。経験は時間が経てば陳腐化してしまいます。偉そうに社会を語るのではなく、学生が成長するためにどうしたらよいかを自分の身になって考え、かけがえのない価値を提供していくことが大切だと思います。学生を自分の知らない未来に送り出すのですから、謙虚さをもって、努力を怠らず、常に知識や情報を更新し続ける姿勢を忘れないことだと思います。

もう一つは、「何のために教員を目指すのかを常に問い直すこと」です。学生を相手にするには、「教員としての強い熱量」が必要です。人間が相手ですから、生半かな気持ちではいざれ立ちいかなくなってしまいます。常に自分と向き合い、教員を目指すことについて徹底的に見直し、目標に挑む武器として「熱」を見つけてほしいと思います。思い通りにいかない局面に遭遇したとしても、情熱を失わず、研鑽を続けていけば努力が実る日が必ず来ると思っています。

# 協会からのお知らせ

## 1. 2024年度実務教育優秀教員

2024年度の「実務教育優秀教員」として、以下の2名の方を表彰しました。

No.	大学名	氏名	職名	所属
1	四国大学	近藤 明子	准教授	経営情報学部 メディア情報学科
2	大妻女子大学短期大学部	豊田 雄彦	教授	家政科 生活総合ビジネス専攻

## 2. 2024年度資格認定証授与数

2024年度の資格認定証授与数は5,514件で、内訳は大学1,930件、短期大学3,584件、また資格認定証の授与開始からの累計数は、675,390件となりました。

## 3. 2025年度新規入会校

2024年度からの新規入会校は次の3校です。

No.	大学名	所在地	学長	申請資格
1	東海学園大学	愛知県名古屋市	石川 清	こども音楽療育士
2	名寄市立大学	北海道名寄市	家村 昭矩	情報処理士
3	松本大学 松商短期大学部	長野県松本市	清水 一彦	ビジネス実務士

## 4. 2026年度開催 研修・講座

### (1) 教学マネジメント教職員研修講座

日程：2026年8月22日(土)、23日(日)、29日(土)、9月19日(土) (対面講座)  
 会場：アルカディア市ヶ谷  
 対象：大学又は短大の教学運営責任者、大学又は短大の教職員(特にFD、SDに関わる方)  
 定員：15名  
 受講料：120,000円(会員校100,000円)消費税込み

### (2) 大学実務家教員認定コース

日程：2026年7月4日(土) ZOOMリモート講座 ※後日オンデマンド配信  
 2026年7月4日(土)～11月23日(祝日) オンデマンド講座  
 2026年11月23日(祝日) 対面演習講座  
 会場：アルカディア市ヶ谷(対面講座)  
 対象：大学教員を目指している企業等に在籍している方、大学に在籍している実務家教員の方等  
 定員：25名  
 受講料：120,000円(会員校100,000円)消費税込み

### (3) 指導補助者教育研修プログラム【新規】

日程：2026年6月6日(土) ZOOMリモート講座 ※後日オンデマンド配信  
 2026年6月6日(土)～12月18日(金) オンデマンド講座  
 対象：大学・短期大学の助手、研究員、大学院生、学部学生(TA、SA経験者含む)  
 定員：30名  
 受講料：60,000円(会員校50,000円)消費税込み

## 5. 2026年度開催 産学官・会員校代表者等交流会

日時：2026年12月11日(金) 14時30分予定  
 会場：アルカディア市ヶ谷(対面・オンライン併用)

## 6. 2025年度役員及び評議員の異動について

### ●役員

新任		退任	
氏名	所属・役職	氏名	所属・役職
下村 裕	常磐大学・常磐短期大学 学長	富田 敬子	常磐大学・常磐短期大学 学長
谷本 和子	関西外国語大学短期大学部 学長	高橋 弘行	一般社団法人東京経営者協会 常務理事兼事務局長
室井 廣一	学校法人東筑紫学園 理事長 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 学長	森 征一	慶應義塾大学 名誉教授

### ●評議員

新任		退任	
氏名	所属・役職	氏名	所属・役職
秋山 稔	学校法人金沢学院大学 理事長 金沢学院大学 学長	石井 茂	学校法人大阪成蹊学園 理事長・総長
秋山 元秀	学校法人純美禮学園 理事長 滋賀短期大学 学長	越原 もゆる	学校法人越原学園 理事長 名古屋女子大学・同短期大学部 学長
佃 昌道	学校法人四国高松学園 理事長 高松大学・高松短期大学 学長	高見 茂	京都光華女子大学・同短期大学部 学長
禿 了修	学校法人福井仁愛学園 理事長	谷本 和子	関西外国語大学短期大学部 学長
		西井 泰彦	学校法人就実学園 理事長
		松重 和美	四国大学・同短期大学部 学長
		宮田 徹	富山短期大学 副学長
		吉田 幸滋	学校法人精華学園 理事長

## 新任役員・評議員の紹介



理事  
下村 裕



理事  
谷本 和子



理事  
室井 廣一



評議員  
秋山 稔



評議員  
秋山 元秀



評議員  
佃 昌道



評議員  
禿 了修

役員・評議員・顧問名簿 (2025.12.31現在)

役員

役職	氏名	現職
代表理事・会長	清水 一彦	松本大学・松本大学松商短期大学部 学長
代表理事・副会長	山下 恵子	学校法人宮崎学園 理事長、宮崎国際大学・宮崎学園短期大学 学長
理事	安藤 正人	愛知学泉短期大学 学長
理事	上野 八郎	学校法人札幌国際大学 学園長
理事	大宮 登	高崎経済大学 名誉教授
理事	加藤 美紀	仙台白百合女子大学 学長
理事	川嶋 太津夫	神戸大学 名誉教授・大阪大学 名誉教授
理事	下村 裕	常磐大学・常磐短期大学 学長
理事	菅原 陽心	新潟青陵大学短期大学部 学長
理事	竹安 栄子	京都女子大学 学長
理事	谷本 和子	関西外国語大学短期大学部 学長
理事	難波 雅紀	学校法人実践女子学園 副理事長、実践女子大学・同短期大学部 学長
理事	西内 みなみ	学校法人コングレガシオン・ド・ノートルダム 理事長
理事	福井 洋子	学校法人大手前学園 副理事長、大手前短期大学 学長
理事	村崎 文彦	学校法人村崎学園 理事長
理事	室井 廣一	学校法人東筑紫学園 理事長、九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 学長
理事	田邊 純一	一般財団法人全国大学実務教育協会 事務局長
監事	加藤 博	学校法人金城学園 副理事長、金城大学短期大学部 学長
監事	坂田 甲一	TOPPANエッジ株式会社 相談役

評議員

氏名	現職
秋山 稔	学校法人金沢学院大学 理事長、金沢学院大学 学長
秋山 元秀	学校法人純美禮学園 理事長、滋賀短期大学 学長
尾崎 春樹	学校法人目白学園 理事長
小田 寛人	常葉大学短期大学部 学長特命補佐・教授
風間 誠史	学校法人相模女子大学 理事長
加茂 純	一般社団法人CDO Club Japan 代表理事
志賀 啓一	学校法人志學館学園 理事長
佃 昌道	学校法人四国高松学園 理事長、高松大学・高松短期大学 学長
禿 了修	学校法人福井仁愛学園 理事長
長谷川 誠	神戸松蔭大学 副学長
濱崎 千鶴	鹿児島純心女子短期大学 副学長

顧問

役職	氏名
名誉顧問	森脇 道子
顧問	合田 隆史
顧問	城島 栄一郎
顧問	谷本 栄子
顧問	納谷 廣美
顧問	松畑 照一
顧問	森 征一

ご協力いただいている企業様のPRページ

株式会社 スタッフアイ

人材に関わる  
お悩みがあれば  
気軽にご相談ください。

**ワンストップ制のスタッフアイだから  
ベストマッチの人材提供が可能です!**

メイン職種  
**オフィスワーク**  
大学事務、総務事務、  
広報など

対応可能エリア  
**東京を中心とした  
関東エリア**

〒104-0031  
東京都中央区京橋2-5-21 京橋NSビル8階  
03-3562-7808  
info@staffi.co.jp 担当：出口

**永和監査法人**  
EIWA AUDIT CORPORATION

私たちは、法人が抱えるリスクや問題点を把握し、理解し、的確な監査手続を提案、選択しています。メンバーで話し合いを行い、業務を進め、クライアントに対して持続可能な成長戦略を掲げています。公認会計士に興味のある、または公認会計士の勉強をしている学生の募集をしています。

法人名	永和監査法人
設立	2005年4月
住所	〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町5-1 兜町第1平和ビル4階
連絡先	Tel 03-6661-2110
採用情報	https://eiwa-audit.com/job-information/

株式会社シー・イー・アイは、  
全国大学実務教育協会の会員様向けに、  
人事・労務領域のリスクから護る傘として、  
各分野の専門家が、質の高いサービスを、  
良心的価格でご提供いたします。

CEI  
Corporate Evolution Institute

ご相談やお見積りなどは  
お気軽にご連絡ください

サービスの具体的な内容

主なサービス内容

- 1.人事・労務コンサルティング
- 2.職員研修企画・運営
- 3.人事評価制度構築支援

株式会社 シー・イー・アイ  
〒102-0085 東京都千代田区六番町1-8 馬場ビル  
☎ (03)5213-3421 Fax(03)5213-3422  
http://www.ceinet.co.jp E-mail: info@ceinet.co.jp

ITでオフィス  
元気にする

https://www.otsuka-shokai.co.jp

**株式会社 大塚商会**  
東京本社 〒102-8573 東京都千代田区飯田橋2-18-4  
札幌・仙台・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡

「お絵かきムービー」  
学生募集、資格のPRに「お絵かきムービー」を!

経営者の人生ストーリーや大学の創立ストーリーで  
会う前から信頼関係を構築できる  
魅力的なブランディングムービーをお作りします。  
無料相談のお問い合わせは Facebook、  
またはメールアドレスまで。

おやまだえつこの  
自己紹介ムービー

ぜひ音声ありで  
ご覧ください。

社団法人 国際じぶんストーリー協会認定  
お絵かきムービークリエイター\*  
【資格番号:001506】  
おやまだ えつこ【アトリエ リジョイス】  
mail@ecco-ookaki.net

ラーメン

リゾットまで美味しい  
至極の一杯

野菜120g分の栄養が凝縮!  
最後の一滴まで楽しめる至極の一杯を。

つゆめん トンカツ丼 トリボタチキ スパイシーボタ

こだわりのポタージュスープ ラーメンからチーズリゾットへ

鍋ボタの魅力、それは  
鍋のコク深い旨みと、  
10種類の野菜をじっくり  
煮込んだポタージュ  
スープの優しい甘み。

最後にチーズを加えて  
リゾットとして味わえば、  
さらなる感動が待っています!  
一杯に込めたこだわりの味を、  
ぜひご堪能ください。

大門口 (東京都港区)  
お茶の水店 (東京都千代田区)  
ラーメン 蒲田店 (東京都大田区)  
THANK 鎌倉小町店 (神奈川県鎌倉市)

詳細はHPをご覧ください